

# 農業



令和元年6月号  
会誌 No. 1652

## 目次

### 巻頭言

番狂わせの人生……………鈴木 辰美 3

### 論壇

日本発 GAP の国際標準化の意義……………中嶋 康博 4

### 先進農業者懇談会

こと京都株式会社における GAP の取組……………山田 敏之 6

### 農業懇話会

有機農業の最近の技術動向と今後の課題……………上野 秀人 26

### 寄稿

十勝農業協同組合連合会の根粒菌配付事業……………三口 雅人 46

### 農業・農村の現場から

農業に日々奮闘しながらインドの食文化を発信、  
そして日印の架け橋へ……………澤野 久美 54  
-宮城県遠田郡美里町 あーりあわらと農園 ブシャーン・アケボノ氏-

### 世界の農業は今

韓国食品製造業における輸出……………樋口 倫生 60

私の経営と志

環境制御を武器にミニトマト栽培を展開……………河合竜太郎 65

統計情報

平成30年産リンゴの結果樹面積，収穫量及び出荷量…………… 67

農政情報

大日本農会だより…………… 69

編集部から…………… 70

ミニ情報

地理的表示保護制度(GI)に基づき登録された特定農林水産物（17） …… 53

平成31年産水稲の全国，都道府県別の10a 当たり平年収量…………… 68

表紙写真説明

イグサの機械収穫（熊本県八代市）

熊本県は，国内生産量の約9割を占める日本一のイグサの産地です。県内でも有数の産地である八代市では6月から7月下旬頃までハーベスター収穫が続きます。このハーベスターは，平成20年以降，イグサ農家の減少により生産が終了していましたが，熊本県の関係者らによる強い要望でメーカーが再生産に踏み切りました。

熊本県のイグサは，畳表に加工した時に高品質で美しい畳表になることで有名で，このような特性は伝統的に行われている「泥染め」という製法によってもたらされているといわれています。

「くまもと県産い草」は，平成28年2月2日，地理的表示法（GI制度）に基づく全国で8番目の特定農林水産物等として登録されました。

（編集部）